水稲技術情報 ＮＯ－10

令和元年６月１９日
ＪＡ営農支援課

圃場間の差が大も生育は良好

１．水稲の生育状況（あきたこまち）

前回の調査以降、気温が平年並みで推移したことで「あきたこまち」の葉齢からみた生育は、村内平均では平年と比べ**「３日程度の遅れ」**となっておりますが、田植え日の早晩等によって**圃場間差がかなり大きく**なっております。５／２０以前に移植した圃場では葉齢や茎数も平年を上回っている傾向にあり、**生育過剰気味の圃場も見受けられる**ことから、茎数が多めの圃場では中干し前に一週間程度の深水管理による茎数抑制を図る等の管理に努めてください。

また、還元状態等により停滞気味の圃場も見受けられますので、以下を参考に生育の回復に努めてください。

水稲定点調査圃の生育状況（６月１８日）

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉齢(葉)		ＳＰＡＤ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	**28.4**	31.2	**204**	234	**7.0**	7.6	**39.7**	40.9
（慣　行）	28.9		170.3		6.9		37.9	
（側条ﾍﾟｰｽﾄ等）	28.0		232		7.0		41.2	
前年比	*98 %*		*125 %*		*0.4 葉*		*104 %*	
平年比	91 %		87 %		-0.7 葉		97 %	
たつこもち	**29.7**	33.0	**170**	239	**7.2**	7.6	**35.5**	41.3
きぬのはだ	**31.2**	34.1	**372**	239	**7.6**	7.7	**37.5**	39.5
ときめきもち	**26.4**	33.3	**247**	216	**7.2**	7.3	**38.5**	39.3

２．今後の技術対応

１）**水　管　理**

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分げつの発生が少ない圃場では、晴天日に３日～４日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫安を10a当たりＮ成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢９葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

２）**病害虫防除**

・いもち病

本年はエルニーニョ現象の影響により７月・８月は曇天日が多いと長期予報で予想されております。その場合いもち病の多発生が懸念されることから、苗箱や本田での防除を施していない方は、早急につぎの薬剤で対策してください。

「オリゼメート粒剤」２～３kg/10ａ

・イナゴ

「トレボン粉剤DL」２～３kg/10ａ

※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしくお願いいたします。